

平成22年度 事業報告の概要

平成22年度は、厳しい当財団の財政事情の下、引き続き「身の丈」改革を継続するとともに、創立50周年を機に、将来に向けた新たな一歩をいかに踏み出せるかが大きな課題でした。

「身の丈」改革では、会費の減少が続く中、資産の効果的な運用や人件費の削減、管理費の節減などに積極的に取り組み、経営改善に努めました。

一方、事業面では、「デザイン振興を通じて、大阪・関西の中小企業や経済の発展をいかに図るか。」といった観点から、(財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会での議論を経て、平成22年度からJDFの継承資産を「人材育成」と「大阪・関西のデザインに対する意識改革と発信力強化」に向けて重点的に取り組むこととしました。

「人材育成」では、新たに在阪の著名な4人のデザイナーの協力を得て「デザインビジネス塾」を実施し、5年で100人を目標にデザインマネジメントやデザインプロデュース能力を備えた人材の育成に取り組み、初年度20人の修了生が誕生しました。今後、修了生の交流も重視し、大阪・関西のデザイン力向上や情報発信基地の役割を担っていく必要があります。

また、「デザインに対する意識改革と発信力強化」では、①昨年秋に開催された「リビング&デザイン展」に、「OSAKA STYLING EXPO 2010」事業として、大阪から世界に影響を与えているデザイナー20組のブースを出展し、大阪の産業力・デザイン力のポテンシャルの高さを国内外にアピールしたり、②「DESIGN 優品関西」を昨年9月開催し、「くらしに身近な選りすぐりのデザイン商品」を展示・販売し、近畿のものづくりのポテンシャルを顕在化・可視化するなど、大阪・関西のデザイン力の情報発信に努めました。③昨年8月に開催した「おもちゃ展」では、「おもちゃ」を通して親子のふれあいが広がる等、「デザインのちから」の大切さを示しました。④50周年記念事業の一環として、香港ビジネス・オブ・デザイン・ウィーク(BODW)が開催された昨年12月1日～4日に、坂下理事長を団長とするミッションを香港デザインセンターに派遣・交流し、深圳でのフォーラムでは理事長から「ODCの取り組み」を報告するとともに、イノセンターの視察を行うなど、最新の海外情報の収集に努めました。⑤「総合的なデザイン振興」を図る観点から「Innovative Good Design Award(仮称)」検討委員会を設置し、「独自のデザイン選定事業の構築」に向けた考え方を集約し、平成24年度に「大阪デザイン賞(仮称)」を具体化するため、平成23年度に実行委員会を設置するとともにイベントとして「シンポジウム」を開催することとしました。

こうした取り組みを通して、着実に将来に向けた取り組みの足掛かりを得ることができました。今後、さらに人の輪を広げ、大阪・関西のデザイン振興・中小企業の発展に寄与していく必要があります。

I. 総務に関する報告

1. 理事会・評議員会の開催

(1) 第78回理事会及び第41回評議員会の開催

- ・ 日時 平成22年5月27日（木）午後3時～4時12分
- ・ 場所 ATC 大阪デザイン振興プラザ 多目的ルーム
- ・ 報告事項 寄付行為変更の件
- ・ 議案 ① 平成21年度事業報告及び収支決算承認に関する件(理事会関係)
② 「(財) 国際デザイン交流協会継承資産運営委員会」委員の委嘱に関する件（理事会関係）
③ 寄付行為の変更に関する件（理事会・評議員会関係）
④ 評議員の委嘱に関する件（理事会関係）
⑤ 理事・監事の選任に関する件（評議員会関係）
⑥ 役員を選任に関する件（理事会関係）
⑦ 平成22年度（財）JKA 補助事業の実施について（理事会関係）

（役員の登記）

平成22年10月22日付、理事23名を大阪法務局へ登記した。

任期 平成22年6月30日～平成24年6月29日

(2) 第79回理事会・第42回評議員会の開催

- ・ 日時 平成23年3月25日（金）午後3時～4時45分
- ・ 場所 ATC 大阪デザイン振興プラザ 多目的ルーム
- ・ 議案 ① 平成22年度補正予算案に関する件
（理事会関係）
② 平成23年度事業計画及び収支予算（案）に関する件
（理事会関係）
③ 公益法人移行に向けた実務者会議の設置に関する件
（理事会・評議員会関係）
④ 大阪デザインセンター基金規程（案）に関する件
（理事会関係）
⑤ 「(財) 国際デザイン交流協会継承資産運営委員会」委員の委嘱に関する件（理事会関係）

2. (財)国際デザイン交流協会継承資産運営委員会の開催

(1) 第1回委員会の開催

- ・ 日時 平成23年3月14日（月）午後1時～2時20分
- ・ 場所 （財）大阪デザインセンター会議室
- ・ 報告事項
 - (1) (財) 国際デザイン交流協会継承資産運営委員会委員の委嘱について
 - (2) JDF 継承資産特別会計「平成22年度基本財産事業」の取組状況について
 - (3) (財) JKA への補助金要望の経過と対応について
 - (4) 基本財産（JDF 継承資産）の資産運用について
- ・ 協議事項
 - (1) 理事会に提出する「(財) JDF 継承資産を活用した平成23年度の事業計画及び収支予算（案）」の作成について
 - ①平成23年度「JDF 継承資産特別会計」予算 検討資料
 - ②平成23年度事業（素案）について

II. 事業に関する報告

1. 「大阪デザイン振興プラザ」事業

大阪デザイン振興プラザ（以下「プラザ」という。）が、大阪デザインビジネスの拠点としての役割を果たすため、次の事業を実施した。

(1) デザインビジネスプロモーションセンターの運営（大阪市からの受託事業）

中小企業のデザイン導入・活用に関するあらゆる相談や情報提供、さらには要望に応じた専門プロデューサーの派遣指導やデザイン事務所の紹介を行うなど、中小企業とデザイナーとのビジネスマッチングに努めた。また、大阪産業創造館と共催で「ものづくりデザイン個別相談会」「工業製品×設計×デザイン マッチング展」を実施、その他「大阪創造取引所」にも出展した。さらにホームページをリニューアルし、多くのデザイナー情報やマッチング事例を発信した。

① デザイン一般相談・利用

一般相談・利用件数 4,109件

(内訳)

デザイン一般に関すること	デザイナー紹介に関すること	プロデューサー派遣に関すること	データベースに関すること	その他	合計
2,024	872	726	352	115	4,109

② デザイナー・デザイン事業所の紹介 96 社

依頼件数 110 社 紹介件数 118 社

(内訳)

プロダクトデザイン分野		スペースデザイン分野		コミュニケーションデザイン分野		合計
成約(開発中含む)	24	成約(開発中含む)	3	成約(開発中含む)	31	58
交渉中	9	交渉中	4	交渉中	9	22
不成約	18	不成約	3	不成約	17	38
合計	51	合計	10	合計	57	118

※ 成約件数には、1 案件 (1 企業) と複数デザイン事務所とのマッチングもカウント

② 専門プロデューサーによる派遣相談・指導

派遣件数 142 件

(内訳)

プロダクトデザイン分野	スペースデザイン分野	コミュニケーションデザイン分野
73	25	34

③ 大阪産業創造館との連携事業

- ・ものづくりデザイン個別相談会 (共催)
 - 第 1 回 平成 22 年 8 月 5 日開催 参加企業 10 社
 - 第 2 回 平成 22 年 11 月 16 日開催 参加企業 9 社
 - 第 3 回 平成 23 年 3 月 4 日開催 参加企業 7 社
- ・飲食 de 開業しメッセ! (出展)
 - 平成 22 年 6 月 19 日開催 参加者 133 名 相談件数 18 件
- ・工業製品×設計×デザイン マッチング展 (共催)
 - 平成 23 年 3 月 9 日開催 参加者 154 名 面談件数 7 件
- ・ものづくりビジネスマッチング展「ゴム」商談会 (パネル出展)
 - 平成 22 年 3 月 18 日開催 参加者 215 名 チラシ配布

④ 広報活動

広く中小企業に対して、本事業を広く PR するため、地下鉄駅等でのポスター掲出や産業振興機関でのチラシ配付、情報誌での事例紹介を行うとともに、ホームページで情報発信を行った。また、平成 22 年 10 月 26 日・27 日に堂島リバーフォーラムで開催された「大阪創造取引所」に出展し、当センターを積極的に PR した。(参加者 2,965 名 面談件数 21 件)

(2) デザイン工房等の運営(ATC (アジア太平洋トレードセンター) からの受託事業)

様々な分野で活躍する新進デザイナー、クリエイターのインキュベート(育成)を目的に設置されたデザイン工房をはじめ、デザインギャラリー、ショーケース、多目的ルーム、ワークルーム、交流サロン、会議室などの運営・管理や工房入所者の作品展を行い、デザイナーの育成と情報発信などに努めた。

- ① インキュベーションオフィス入所事務所数 7事務所
- ② デザイナーオフィス入所事務所数 26事務所
- ③ 第15回デザイン工房入所者作品展

インキュベーションオフィス入所者の活動・成果発表の場として、「リビング&デザイン」展に出展した。

- ・テーマ 「リビング&デザイン」すまいのリノベーション
TOTAL INTERIOR
- ・期間 平成22年9月29日～10月2日 (4日間)
- ・会場 国際見本市会場・インテックス大阪2号館
- ・来場者 3,273人

(3) イベント企画、ライブラリー、データバンク等の運営

(ATC (アジア太平洋トレードセンター) からの受託事業)

「大阪デザイン振興プラザ」が主催するイベント企画・実施のサポートをはじめ、ライブラリー、データバンク等の管理を一元的に行い、デザイン情報発信拠点としての役割を果たした。

- ① 企画運営会議 ・開催回数 10回
- ② 企画推進会議 ・開催回数 12回
- ③ 主なイベント開催状況 ・展示会 7回 ・セミナー 11回

《内訳》

テーマ	開催期日	区分
ODPセミナー①日本産業デザイン振興会 「グッドデザイン応募」説明会	平成22年5月21日	セミナー
第42回毎日・DAS学生デザイン賞 金の卵賞入賞・入選作品展	平成22年6月1日～6日	展示会
ODPセミナー② 中小企業のためのインターネット顧客創出術	平成22年6月24日	セミナー
ODPセミナー③ WEBサイト画像のカラーマネジメント	平成22年7月22日	セミナー

おもちゃ展	平成 22 年 8 月 13～15 日	展示会
ODP セミナー④ デザイン（意匠）を守るためには、	平成 22 年 8 月 26 日	セミナー
ODP セミナー⑤ デザイナーのための正しい上手な確定申告	平成 22 年 9 月 16 日	セミナー
木金館作品展	平成 22 年 9 月 18～23 日	展示会
U-30 建築展	平成 22 年 9 月 29 日～ 10 月 11 日	展示会
ODP セミナー⑥ エクセル講習会	平成 22 年 10 月 21 日	セミナー
ATC 博	平成 22 年 11 月 1,2,3,6,7 日	展示会
ODP セミナー⑦ パッケージデザインと販売促進戦略	平成 22 年 11 月 11 日	セミナー
ODP セミナー⑧ 失敗しないデザイナーの選び方・使い方	平成 22 年 12 月 17 日	セミナー
ODP セミナー⑨ 世界をリードできる、日本人の感性とデザイン	平成 23 年 1 月 20 日	セミナー
第 25 回毎日・DAS 「銀の卵賞」 入賞・入選作品展	平成 23 年 1 月 29 日～ 2 月 2 日	展示会
ODP セミナー⑩ LED 照明本当のところはどうなの	平成 23 年 2 月 24 日	セミナー
2011 大阪工芸協会展	平成 23 年 2 月 19～23 日	展示会
ODP セミナー⑪ 事例に学ぶ、効果が上がる販売促進ツール	平成 23 年 3 月 24 日	セミナー

③ 主な視察・見学状況 来館件数 8 件 来館者総数 48 人

徳島県つるぎ町	平成 22 年 6 月 18 日	2 人
インド総領事館、インド政府、IBPC	平成 22 年 6 月 21 日	5 人
韓国・光州女子高校	平成 22 年 7 月 23 日	27 人
北海道情報大学	平成 22 年 9 月 3 日	5 人
タイ国政府貿易センター大阪	平成 22 年 9 月 30 日	6 人
鳥取県産業デザインセンター	平成 23 年 2 月 8 日	1 人
茨城県デザインセンター	平成 23 年 3 月 11 日	1 人
静岡文化芸術大学	平成 23 年 3 月 30 日	1 人

2. 研修・教育事業

(1) デザインビジネス塾[co-design]—エキスパートデザイナー育成講座—の開催

((財) J K A 補助事業)

デザインを通して、問題の発見・課題の解決が図れる人材、新しいビジネスを創造できる人材を毎年 20 名、5 年間で 100 名を目標に育成するため、4 つの分野で活躍する大阪の著名デザイナーを塾長に委嘱し、初めてデザインビジネス塾—「エキスパートデザイナー育成講座」—を実施した。

総代塾長に坂下清理事長、塾頭に越田英喜副理事長、塾長には、空間デザイナーの間宮吉彦氏、プロダクトデザイナーのムラタ・チアキ氏、プロデューサーの山納洋氏、クリエイティブディレクターの吉田順年氏にお願いし、22 名の応募があった。

6 月 30 日に入塾式 (ATC 多目的ルーム) を実施し、その後、中之島 BANKS に会場を移し、5 週に亘り連続講座を実施した。坂下清氏、吉田順一氏、佐藤典司氏、中西元男氏、榎本信之氏、選り抜かれた講師陣による講演とディスカッションを実施した。連続講座の終了後、8 月上旬から 9 月中旬にかけて、21 名の塾生はそれぞれの塾長の指導のもと、4 塾に分かれて塾長ワークショップに臨んだ。

その後、9 月 14 日の円卓会議「みんなの景観デザイン」を皮切りに、「大阪発エコと創エネが世界を救う」・「おおさか車座—つながりの新たなカタチを探る—」・「クリエイティブな資金調達」の 4 回の円卓会議を、それぞれの分野の一流の講師を迎えて実施した。

円卓会議と並行して、各塾では成果発表会「大阪のイメージアップ大作戦」へ向けてのワークショップが精力的に取り組みられ、調査や取材の一方、ワークショップの場において、地域や社会が抱える課題へのデザインソリューションを提示するべく議論が交わされた。

12 月 18 日には 4 時間近くに及ぶ成果発表会が実施され、半年間に亘る長丁場のデザインビジネス塾を終了した。

【各塾の成果発表のテーマ】

間宮塾	O s a k a O m n i b u s
ムラタ塾	地下鉄のデザインソリューション —国際都市大阪に相応しい地下鉄の駅をユーザー目線で考える—
山納塾	淀川のイメージアップ — “ほんまや” のデザイン 水道局に提案—
吉田塾	コミュニケーションデザインが可能にする豊かな大阪

なお、山納塾が大阪市水道局に提案した「ほんまや」のパッケージデザイン案4案のうち1案（「環境」をテーマした内容）について、水道局が採用し、大阪ガスが協賛する形で本年6月1日から発売されることとなった。

- ・ 開催期間 平成22年6月30日(水)～12月18日(土)
- ・ 会場 中之島 BANKS（入塾式のみ ATC 多目的ルーム）
- ・ 修了生 20名（受講者 21名）

(2) デザインマネジメント研究会の開催

デザインマネジメントに対する理解を深め、デザインを戦略的に活用する総合的なマネジメント手法について研究することを目的に「デザインマネジメント研究会」を実施した。

研究会は6名の塾生による自己紹介と各自の研究課題についてのプレゼンテーションを皮切りに、坂下塾長の「デザインマネジメント入門」と題しての「日本におけるデザインマネジメントの展開について」、佐藤 典司氏(立命館大学 経営学部教授)による「情報消費社会のデザインマネジメント」、吉田 順一氏(大阪府立大学 21世紀科学研究機構 教授)による「マーケティング視点のデザインマネジメント」、榎本 信之氏(株式会社 GK 京都 取締役 企画開発担当)による「デザインマネジメントコンサルテーション」、坂下塾長による「ジャパンオリジナルの創出に向けて」と題しての「日本におけるデザインの展開について」、講義とディスカッションを展開した。

また、最終日は、塾生による成果発表のプレゼンテーションと、修了証書の授与を実施し、22年度のデザインマネジメント研究会を終了した。

- ・ 開催期間 平成22年10月21日(木)～12月16日(木)
- ・ 会場 大阪産業創造館 会議室
- ・ 受講者 6名

なお、第6回研究会は、「デザインマネジメントフォーラム4」と題した公開講座と合わせて11月25日(木)に実施し、09年度を受講生3名(西村俊昭氏(ミズノ株式会社)、高瀬篤夫氏(兵神装備株式会社)、山口恒久氏(株式会社明電舎))をパネリストに迎えた。63名の傍聴者が熱心に聴き入る中、パネリストからは、デザインマネジメント研究会から得たヒントをもとに、一年間の自社での取り組み成果のプレゼンテーションがなされた。

(3) デザイン学生へのインターンシップ支援事業((財)JKA補助事業)

平成14年度から大阪デザイン振興プラザ・デザイン工房会等の協力を得てインターンシップ支援事業に取り組み、平成22年度は(財)JKAの補助事業として実施した。今回の実施にあたり、受入事務所の募集については、大阪デザイン振興プラザ・デザイン工房会と、プロダクト系を中心に府下のデザイン事務所に呼びかけた結果、29社からの応募があった。また、学生募集対象校は、昨年度からデザイン学科を有する専門学校、短期大学、大学に拡大し、54校に募集要項を配布した。募集に当たっては、昨年度同様、本人の意向を生かすため、第3希望まで受入れた結果、応募者は前年の71名(19校)から104名(25校)となり、ほぼ1.5倍となった。実習生の選考に際しては、実行委員会でプロダクト系を重視しつつ、希望者の多い受入デザイン事務所を優先して選定し、応募者の応募動機や熱意などを勘案し、慎重に20名を選考した。

実習については、昨年度20日間で実施したが、財政上の問題もあり、21年度の「インターンシップ支援事業 実習生満足度調査」で実習生の1/3が「少し長すぎる」と回答しており、5日短縮の15日間とした。又、募集人員も昨年度の22名から20名に2名減とした。実習終了後、インターンシップで得た内容等について感想文の形で提出を求めた。また、受入事務所についても、実習生の成長を評価する目的で、デザインスキル等について報告を頂いた。

インターンシップ終了後、実習生と受入事務所の方々に集まっていただき、成果等を語り合う「座談会」も開催した。

- ・ 実施期間 平成22年7月16日(金)～9月29日(水)のうち15日間
- ・ 実施場所 大阪デザイン振興プラザ・デザイン工房内デザイン事務所 及び、
大阪市内・近郊のデザイン事務所
- ・ 受入事務所 20社
- ・ 実習生 20名(大学13名、短期大学1名、デザイン専門学校6名
男子10名、女子10名)

○ 座談会

- ・ 開催日時 平成22年9月29日(水)午後3時から5時
- ・ 開催場所 大阪デザイン振興プラザ・多目的ルーム
- ・ 参加者 実習生17名、受入事務所17名

なお、平成19年度から21年度のインターンシップ実習生63名の「その後の進路」を平成22年8月に調査した結果、42名が就職し、そのうち85.7%に当たる36名がデザイナーなどデザイン関係の仕事に就いていることが分かった。

3. 情報の発信・調査事業

(1) 情報誌「DESIGN LINK OSAKA 中小企業のためのデザイン情報」の刊行

(大阪市からの受託事業)

中小企業経営者ならびに商品開発担当者に対して、今日の経営の基盤強化に欠かすことのできないデザインについて、あらゆる角度から情報の収録・紹介を行い、経営の活性化とデザイン水準の向上、ひいては大阪産業界のデザイン振興に寄与することを目的として発行した。

- テーマ 「活路」「創出」「伝達」「発揮」
- 発行回数 年4回（7月、11月、1月、3月）
- 発行部数 各号1,000部
- 配付先 企業、業界団体、デザイン事務所、デザイン関係機関・団体 等

(2) 「OSAKA STYLING EXPO 2010」事業への参画

(「リビング&デザイン展」連携事業)

大阪商工会議所、大阪スタイリングエキスポ実行委員会（構成：大阪市、(財)大阪21世紀協会、(社)関西経済同友会など）が主催する「OSAKA STYLING EXPO 2010」に、当財団も実行委員会メンバーとして初めて参画した。

平成22年度は、大阪のライフスタイル関連産業の活性化と人材の発掘・育成を図ることを目的に、「FASHION」と「LIVING」の2つの部門で構成された。

「LIVING」部門については、ムラタ・チアキ氏にSTYLING EDITORとしてプロデュースを依頼し、平成22年9月29日～10月2日にインテックス大阪で開催された「リビング&デザイン展」に、大阪から世界に影響を与えているデザイナー20組の協力を得て、全体と個の調和をテーマにした“holonicpath（ホロニックパス）”というブースを展示し、大阪の産業力やデザイン力のポテンシャルの高さを国内外にアピールした。

ブースには、4日間で延べ4,773人の来場者があり、好評であった。

(3) Innovative Good Design Award(仮称)検討委員会の設置

「デザイン創造に新たな目標を与え、産業の発展に寄与していく取組は重要」として、「地域や産業界の特性を活かし、一般消費者の受容性も考慮し、独自のデザイン選定事業の構築に取り組む」ため、「Innovative Good Design Award(仮称)」検討委員会を設置し、5名の委員から4回に亘り、多様な意見をいただいた。

新たな選定制度は、「狭義の『モノ』のみを対象とせず、生活に関わるすべて

のデザインを対象とする。したがって、イベント、Web デザイン、Public デザイン、景観デザイン等、全ての分野を対象とし、その創出に関わったデザイナー、プランナー、企業も含めるものとし、募集方法については、従来同様公募方式とするが、新たに推薦人制度を導入し、幅広く優れたデザインを見出すことに努める。」ことを目指すこととした。

平成 24 年度からの「募集・選定・表彰」に取り組むため、23 年度に実行委員会を設置し、申請費や審査費、推薦人制度や審査員の選定など詳細を検討するとともに、プレイベントとして、「よりよい暮らしのためのデザイン（仮称）」をテーマに秋にシンポジウムを開催することとした。

《「Innovative Good Design Award（仮称）」検討委員会委員》

嶋崎 直氏（日刊工業新聞広島支局長）、下川 一哉氏（日経デザイン編集長）、竹川 智子氏（株式会社フラン代表取締役）、吉田 順一氏（大阪府立大学 21 世紀科学研究機構教授）、吉田 三千代氏（サンケイリビング社企画開発部部長）

（4）DESIGN 優品関西

近畿のものづくりのポテンシャルを顕在化・可視化するため、関西のものづくり企業やデザイナーが開発に関わった“くらしに身近な選りすぐりのデザイン商品”を展示・販売した。

とき：平成 22 年 9 月 3 日（金）、4 日（土）

場所：中之島バンクス

主催：（財）大阪デザインセンター

共催：大阪府（大阪府産業デザインセンター）

協力：近畿経済産業局、大阪市、大阪商工会議所

運営協力：中之島デザインミュージアム de sign de

後援団体：京阪電気鉄道株式会社、リーガロイヤルホテル、株式会社大阪国際会議場、社団法人関西経済連合会、社団法人関西経済同友会

出展者：12 社 出展協力 1 社

来場者：704 名

テレビ取材：NHK、関西テレビ、毎日放送、テレビ大阪

新聞記事：日経新聞、織研新聞

アンケート：回答者 340 枚（回答率 48.3%）

【催事継続の希望】 希望する 94.6%、希望しない 5.4%

(5) あそぶ・そだつ・まなぶ…「おもちゃ展」

海外の「おもちゃ」を親子で遊びながら、親の消費者の目線で、グッドデザインを選定する。こうした行動を分析し、グッドデザインとバッドデザインを考える機会を設定しよう、ということで、夏休み期間に「おもちゃ展」を開催した。

狭い会場でしたが、3 日間に多数の家族が訪れ、精巧なブロックおもちゃの作成に長時間集中する子、木で作られたパズルに夢中になる子、おじいさん・おばあさんも参加してのカロムゲーム等に興じる家族、段ボールで作られた“迷路”、“プラネタリウム”や“モグラたたきならぬ子どもたたき”に子どもたちの歓声が響き、「おもちゃ」を通して、“デザインのちから・創造とイマジネーションの世界…おもちゃは文化”であることを示した参加・体験型のイベントとなった。

なお、実施にあたり、アジア太平洋トレードセンターから分担金を得た。

とき :平成 22 年 8 月 13 日(金)～15 日(土)

場所 :大阪デザイン振興プラザ デザインギャラリー(ATC・ITM 棟 10 階)

主催 : (財) 大阪デザインセンター、大阪デザイン振興プラザ

企画運営 : 大阪デザイン振興プラザ (企画担当) / 森田力/株式会社こふれ

特別協力 : アジア太平洋トレードセンター

協賛 : HABA 社(ドイツ)/Fischer Technic(ドイツ)/ほか、海外おもちゃメーカー /Favorite Collection「The DINOSAUR」:KINKO&CO./編集工房(有)北風 寫真館「CARROM」/各個人所有の海外おもちゃ/国際こどもフォーラム事務局・プレトピア所有のおもちゃ等

入場者数 : 2,392 名

アンケート : 275 枚回収

【本展に参加された感想】「大変良かった」50%、「良かった」42%で92%の人から評価をいただいた。

(6) 香港デザインセンターとの交流(ミッションの派遣)

経済のグローバル化のもと、アジア各国のデザイン力の向上はめざましく、これら諸国のデザイン事情を視察し、交流を図ることは、大阪・関西のデザイン振興・デザインビジネスの発展にとって有効であり、ODC の 50 周年記念事業の一環として、平成 22 年 12 月 1 日(水)～4 日(土)の4日間、香港デザインセンターが主催するビジネス・オブ・デザイン・ウィーク(BODW)に坂下理事長を団長とする15名のミッションを派遣し、最新の海外情報の収集と香港デザインセンター・イノセンターを訪問・交流した。

また、関連事業として12月1日から深圳で開催されていた深圳インダストリアルデザイン協会主催の「Shenzhen Industrial Design Forum」に坂下理事長が

ゲストスピーカーとして招聘され、「(財)大阪デザインセンターの取組」を報告した。

なお、交流に当たっては、大阪市が参加している I B P C(International Business Promotion Center)大阪ネットワークの協力を得た。

(7) 「ODCサロン」の実施

ODC がデザイン関係者の交流を図り、情報発信できる場を持つため、「ODC サロン」を実施する予定でしたが、講師の日程調整など不十分な面があり、結果として実施出来ませんでした。

引き続き、デザイン関係者、若手デザイナーなど、人と情報が集まり、楽しく集いながらもデザインビジネスに繋がる場となるよう努力します。

(8) 事業評価委員会の設置

当財団では、(財) JKA から補助金を得て2つの事業を実施しているが、(財) JKA では、「補助事業実施に関する事務手続要領」で補助事業の透明性、効率性を確保するため、補助事業者の「事前評価」「事後評価」を求めている。事後評価に当たっては、補助事業者の内部評価だけではなく、評価の客観性を担保するため、外部有識者で構成する評価委員会の設置が求められた。そのため、(財) JKA の補助事業等を評価する(財)大阪デザインセンター事業評価委員会(以下、「委員会」という)を設置し、3名の評価委員(藤本英子京都市立芸術大学准教授、竹川智子株式会社フラン代表取締役、羽原清明大阪デザイン団体連合機構副会長)を委嘱し、平成23年2月2日(水)午前10時から(財)大阪デザインセンター会議室で委員会を開催した。

委員会では、委員長に藤本英子氏を選出した後、評価の検討に入った。

①エキスパートデザイナー育成講座、②デザイン学生のためのインターンシップ支援事業について事業概要や参加者アンケート、事後評価書等を説明し、委員から質問を受け、評価の妥当性を巡って委員間で意見交換の後、補助事業者の評価を一部修正し、評価委員会を終えた。

この内容は、事後評価書に反映し、(財) JKA に提出した。

(9) ホームページの充実

サイトのリニューアルを行い、事業の告知など当センターの新しい情報を、その都度更新して発信し、閲覧数の向上に努めた。また、デザインビジネスプロモーションセンター相談業務の表現見直しやマッチング事例、デザイナー情報を多数掲載して、利用の向上に繋げた。

(10) デザイン事務所のデータ整理及び管理

ビジネスマッチングに活用するための在阪を中心とするデザイン事務所データについて、得意分野・開発事例など関連情報を収集の上、利用者のニーズに応じて閲覧を行った。また、登録デザイン事務所に対して、関連するイベント・セミナー等の情報を提供した。

○登録デザイン事務所数

- ・プロダクトデザイン分野 83 社
- ・スペースデザイン分野 40 社
- ・ビジュアルデザイン分野 184 社

5. ものづくり活力創造事業

優れた技術・素材を持つ中小製造業と、新しいモノづくりに取り組むデザイナーとの情報交換・コラボできる場を企画して提供。双方のデザイン力の向上に向けて、次の事業を実施した。

- ・展示会（主催：木コロの森展実行委員会）

「木コロの森展」－森の恵みを余さず使う－

期日 平成 22 年 5 月 1 日～5 月 31 日 参加デザイナー 11 名

会場＝ATC（空の広場・グリーンエコプラザ・大阪デザインセンター）

来場者数＝2,035 名

- ・工場見学会（共催：JIDA 関西ブロック）

「銭屋アルミニウム製作所見学会～チタン・ステンレス・アルミの製造要素開発について」

期日 平成 22 年 1 月 21 日 参加者 27 名

会場＝（株）銭屋アルミニウム製作所（池田市）

6. 50周年記念事業

- (1) 坂下理事長を団長とする 15 名のミッションを平成 22 年 12 月 1 日（水）～4 日「香港 BODW」に派遣し、香港デザインセンター・イノセンターを訪問し、香港デザインセンターとの交流を深めた。
- (2) 情報誌「DESIGN LINK OSAKA」に、下川一哉氏（日経デザイン編集長）と坂下清理事長との巻頭対談を掲載した。また、「大阪のデザイン振興と ODC」と題し、大阪芸術大学名誉教授の西尾 直氏による連載記事を前年度に続いて 2 回（合計 5 回）掲載し、デザイン振興行政の経緯や活動を年表（1990 年～2010 年）とともに振り返った。
- (3) 新しく、大阪の若名デザイナーの協力を得て、「デザインビジネス塾－エキスパートデザイナー育成講座－」を平成 22 年度から開始し、20 名の修了生が誕生

した。毎年 20 名、5 年で 100 名の人材を育てることとしている。

7. (財) 国際デザイン交流協会継承資産運営委員会

国デ協の継承資産については、(財) 国際デザイン交流協会継承資産運営委員会（構成：大阪府、大阪市、大阪商工会議所、近畿経済産業局の役職員の中からそれぞれ 1 名を理事会の同意を得て理事長が委嘱する。）で、引継がれた財産の管理や同財産をもって行う事業に関し、理事会に提出する収支予算、事業計画などについて審議を行うこととなっている。

運営委員会を平成 23 年 3 月 14 日（月）に開催し、平成 22 年度に継承資産を活用して実施した事業内容等を報告するとともに、理事会に提出する平成 23 年度の事業計画と予算案などを集約した。

8. デザイン団体支援事業

大阪デザイン団体連合機構をはじめ、(社) 日本インダストリアルデザイナー協会関西ブロック、(社) 日本インテリアデザイナー協会関西事業支部、(社) 日本商環境設計家協会関西支部、日本デザイン・ソサエティ、熟年女性デザイナー協会などからの委託を受け、各団体の事務局業務を推進し、各団体の支援に努めた。

9. その他の事業

(1) 商工経済団体との連携

大阪商工会議所、大阪府中小企業団体中央会、大阪府商工会連合会、大阪市工業会連合会及び大阪卸商連盟など商工経済団体との連携の下、諸事業の推進と PR に努めた。

(2) 賛助会員加入促進の強化

センターの財政基盤の強化を図るため、市内デザイン事務所を中心に積極的な加入勧奨に努めた。

○ 賛助会員数 155 社

(3) デザイン関連事業の後援、協賛状況

デザイン関連諸事業に対して、共催（1 件）、後援（8 件）を行った。

(内訳)

開催日	名称	団体名	区分
平成22年5月11日	香港・珠江デルタ地区デザイ	(財) 日本産業デザイン	共催

	ン市場参入ビジネスセミナー	振興会、香港貿易発展局	
6月16～18日	S I G N E X P O 2010	近畿屋外広告美術組合連合会	後援
9月29～10月2日	「リビング&デザイン」	(社)大阪国際見本市委員会	後援
6月下旬～11月下旬	第7回”若者によるエコ・メッセージ“ポスターデザイン公募	地球環境関西フォーラム	後援
11月6日	J I D セミナー	(社)日本インテリアデザイナー協会関西事業支部	後援
11月11日	2011 “NDCモードコレクション	(社)日本デザイナークラブ関西支部	後援
平成23年1月28日	J C D 50 デザイナーズアクセス2011	(社)日本商環境設計家協会	後援
2月19～23日	2011大阪工芸展	(社)大阪工芸協会	後援
2月19日	J I D セミナー	社)日本インテリアデザイナー協会関西事業支部	後援

(4) グッドデザイン選定商品にかかるマークの使用

選定商品に対して、大阪デザインセンターマークの使用を認め、すぐれたデザイン商品の販促活動を助成した。

- ・ マーク使用件数

1 件